

2023年3月22日

協栄産業株式会社と「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、協栄産業株式会社（代表取締役社長 平澤 潤）は、本商品を利用し私募債を発行いたしました。

同社は、「エレクトロニクス分野を通して 高い品質と優れた技術に基づいた 価値ある製品・サービス・情報を提供することにより 夢とゆとりのある社会の実現に貢献します」という経営理念のもと、「社会の持続的な成長」と「企業価値の向上」の実現のため、社会・環境問題をはじめとする ESG（環境貢献・社会貢献・コーポレートガバナンス）の課題に対して取り組んでいる企業グループです。

また、同社は、中期経営計画において、同社の理念である「夢とゆとりのある社会」＝「持続可能な社会」という想いのもと、「社会の持続的な成長」と「企業価値の向上」実現に向けて、サステナビリティを重視した経営に取り組んで行くことを表明しており、更なる ESG 活動の推進が期待されます。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

【環境面（E）】

- ・同社は、国内グループ会社全社において共通の環境マネジメントシステムを構築し、環境方針や環境目標の設定・管理や環境面のリスク・機会の特定・管理、従業員への環境教育等を適切に実施するとともに、ISO14001 の外部認証を取得している。
- ・事業活動に伴い発生する環境負荷を把握するため、エネルギー消費量や太陽光発電量、水使用量等をモニタリングし、環境負荷の低減に努めている。
- ・エネルギーマネジメントシステムやインバータ等、顧客の省エネにつながる環境配慮型の製品・サービスを提供している。
- ・経営層による監督の下、全社的な 3R の取り組みを推進している。

【社会面（S）】

- ・社会側面の取り組みに関する方針を策定し、女性採用比率や育児休暇取得率等に関する定

量目標を設定・公表の上、目標達成に向けた具体的な施策を計画している。

- ・雇用状況や従業員の多様性に関するデータを適切に開示している。
- ・顧客満足度向上のための活動や、顧客の個人情報を適正かつ安全に取り扱うための取り組みを適切に実施している。

【ガバナンス面（G）】

- ・コーポレート本部の主管部門を中心とした全社的なリスク管理体制を構築しており、一般的な事業リスクに加えて気候変動や情報セキュリティ等の新興リスクについても特定・分析し、その内容を開示している。
- ・社会への貢献のために全役職員が遵守すべきルールとして「行動規範」を定め、その内容を社内で周知徹底している。
- ・コンプライアンス関連の相談窓口を設置し、通報があった場合は必要に応じて経営層を中心に組織的に対処するプロセスが取られている。
- ・取締役の報酬の一部が業績連動報酬となっており、会社の持続的な成長に向けた健全なインセンティブとして機能するよう設計されている。また、取締役報酬の決定方針や報酬内容は、過半数の独立社外役員で構成された「指名・報酬委員会」において審議されている。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上